くらしのかいらんばん

13

～いきいきとした生活～

発行：
社会福祉法人光道園　生活機能支援室

使ってみよう！自助具

自助具とは、心身機能・身体構造上の理由（身体障がい）から、日常生活で困難を来している動作を、可能な限り自分自身で容易に行えるように補助し、日常生活をより快適に送るために、特別に工夫された道具のことです。

自助具を使うことで、できないまたは難しいとあきらめていた動作が可能になると、生活の幅が広がるばかりか、精神的にも積極性が出てくるなど、自立した生活に一歩近づくことができます。

私たち生活機能支援室でも、筋力練習等の身体的なリハビリを提供するのみならず、このような自助具を提供していく事で、利用者様が困難であった生活動作を容易にできるようサポートしています。「お箸で食べるのが難しくなってきてる・・・」など、お困りの点がございましたら、是非ともご相談ください。

顎を上げず、引いたまま飲むことが出来るコップ。中身が鼻に当たらないように、飲み口をU字型にカットしてある。顎を上げることが難しい方でも、誤嚥しにくい。

バネが付いていて、バラバラにならない。バネの力により、僅かな力でもつまむことが出来る。つまんだ後も、2本の箸先がずれないので、食物を口まで運びやすい。

指で握ることが困難でも、スプーンを持つ事が出来る。自助具のスプーンとしては、ほかに柄を太くして、握力が弱い方でも握り易くしているタイプもある。

片麻痺の方でも、自分で入れ歯を洗う事ができるブラシ。吸盤でシンクに固定して使う。写真のものは、生活機能支援室で自作したものである。自助具は、既製品を購入する場合もあれば、対象者のニーズや状態に応じて、自作する場合もある。